

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和3年10月7日(2021.10.7)

【公表番号】特表2021-501579(P2021-501579A)

【公表日】令和3年1月21日(2021.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2021-003

【出願番号】特願2020-524201(P2020-524201)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/13	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 1 2 N	15/63	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/40	(2006.01)
A 6 1 K	31/404	(2006.01)
A 6 1 K	31/366	(2006.01)
A 6 1 K	31/47	(2006.01)
A 6 1 K	31/505	(2006.01)
A 6 1 K	31/397	(2006.01)
A 6 1 K	31/22	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/13	
C 0 7 K	16/18	Z N A
C 1 2 N	15/63	Z
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/10	
C 1 2 P	21/08	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	31/40	
A 6 1 K	31/404	
A 6 1 K	31/366	

A 6 1 K 31/47
A 6 1 K 31/505
A 6 1 K 31/397
A 6 1 K 31/22

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月26日(2021.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒトA p o C 3に特異的に結合する単離された抗体であって、前記抗体が、相補性決定領域 C D R H 1、C D R H 2、および C D R H 3 を含む重鎖可変領域と、相補性決定領域 C D R L 1、C D R L 2、および C D R L 3 を含む軽鎖可変領域と、を含み、

- (a) C D R H 1 が、配列番号3のアミノ酸配列を含み、
- (b) C D R H 2 が、配列番号36のアミノ酸配列を含み、
- (c) C D R H 3 が、配列番号10のアミノ酸配列を含み、
- (d) C D R L 1 が、配列番号6のアミノ酸配列を含み、
- (e) C D R L 2 が、配列番号7のアミノ酸配列を含み、かつ
- (f) C D R L 3 が、配列番号14のアミノ酸配列を含む、

単離された抗体。

【請求項2】

前記重鎖可変領域が、配列番号42のアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の単離された抗体。

【請求項3】

前記軽鎖可変領域が、配列番号54のアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の単離された抗体。

【請求項4】

前記重鎖可変領域が、配列番号42のアミノ酸配列を含み、前記軽鎖可変領域が、配列番号54のアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の単離された抗体。

【請求項5】

配列番号68のアミノ酸配列を含む重鎖を含む、請求項1に記載の単離された抗体。

【請求項6】

配列番号68のアミノ酸配列を含む重鎖を含む、請求項3に記載の単離された抗体。

【請求項7】

配列番号74のアミノ酸配列を含む軽鎖を含む、請求項1に記載の単離された抗体。

【請求項8】

配列番号74のアミノ酸配列を含む軽鎖を含む、請求項2に記載の単離された抗体。

【請求項9】

配列番号42のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域。

【請求項10】

配列番号68のアミノ酸配列を含む重鎖。

【請求項11】

配列番号54のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域。

【請求項12】

配列番号74のアミノ酸配列を含む軽鎖。

【請求項13】

ヒトApoc3に特異的に結合する単離された抗体であって、配列番号68のアミノ酸配列を含む重鎖と、配列番号74のアミノ酸配列を含む軽鎖とを含む、単離された抗体。

【請求項14】

重鎖のアミノ酸配列が、配列番号68のアミノ酸配列からなり、軽鎖のアミノ酸配列が、配列番号74のアミノ酸配列からなる、請求項13に記載の単離された抗体。

【請求項15】

重鎖定常領域を含む、請求項1に記載の単離された抗体。

【請求項16】

前記重鎖定常領域が、ヒトIgG₁、IgG₂、またはIgG₄の重鎖定常領域である、請求項15に記載の単離された抗体。

【請求項17】

前記重鎖定常領域が、それぞれ、EU位置433、434、および436でアミノ酸K、F、およびYを含む、請求項15に記載の単離された抗体。

【請求項18】

前記重鎖定常領域が、それぞれ、EU位置252、254、および256でアミノ酸Y、T、およびEを含む、請求項15に記載の単離された抗体。

【請求項19】

前記重鎖定常領域が、それぞれ、EU位置428および434でアミノ酸IおよびSを含む、請求項15に記載の単離された抗体。

【請求項20】

前記重鎖定常領域が、配列番号21、22、23、24、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85及び86からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項15に記載の単離された抗体。

【請求項21】

軽鎖定常領域を含む、請求項1に記載の単離された抗体。

【請求項22】

前記軽鎖定常領域が、配列番号25または26のアミノ酸配列を含む、請求項21に記載の単離された抗体。

【請求項23】

請求項1に記載の抗体と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項24】

請求項4に記載の抗体と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項25】

請求項9に記載の重鎖可変領域と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項26】

請求項10に記載の重鎖と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項27】

請求項11に記載の軽鎖可変領域と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

。

【請求項28】

請求項12に記載の軽鎖と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項29】

請求項13に記載の抗体と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項30】

請求項14に記載の抗体と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。